

横浜市PFI事業進捗状況等確認調書 要約【修繕費累計額】

資料1-3

(単位:千円)

事業名	単年度(令和5年度)					事業実施期間 累計				事業全体期間			
	計画値 [契約時]	計画値 [年度当初]	実績値	差額 (実績値-計画値 [年度当初])	差額発生理由	維持管理・運営 累計期間	計画値 [契約時]	累計 実績値	差額 (実績値-計画値 [契約時])	維持管理・運営 全体期間	全体計画値 (最新値)	修繕 進捗率	長期修繕計画の進捗状況
① 横浜市環境創造局 北部汚泥資源化センター消化ガス発電設備整備事業	128,284	128,284	128,284	0	—	H21～R5年度 (約15年間)	1,691,974	1,691,974	0	H21～R11年度 (約21年間)	2,356,398	71.8%	・各エンジンの総運転時間は90,000時間を超え、2号機(6月)、4号機(4月)、5号機(8月～9月)のF点検を計画通り実施した。 ・事業全体をとおり、突発的な修繕や予定していた修繕の先送りはなく、長期修繕計画に基づき、予定とおりに進捗している。
② 横浜市瀬谷区総合庁舎及び二ツ橋公園整備事業	42,520	40,850	40,850	0	—	H23～R5年度 (約13年間)	326,405	313,587	▲ 12,818	H23～R7年度 (約15年間)	374,840	83.7%	・事業全体を通しての計画修繕により、施設利用者に大きな影響が無いように予定通り取り組んでいる。 ・令和5年度は、計画通り電気設備工事、空調設備工事、建築設備工事等の部分修繕を実施した。
③ 川井浄水場再整備事業	215,414	225,969	175,021	▲ 50,948	修繕計画の見直し、物価改定による減	H26～R5年度 (約10年間)	1,049,569	1,036,723	▲ 12,846	H26～R15年度 (約20年間)	2,938,466	35.3%	事業全体を通して、突発的な修繕はなく、一部見直しを行った長期修繕計画に基づき、予定していたとおりに進捗している。
④ 戸塚駅西口第1地区第二種市街地再開発事業に伴う 公益施設整備事業	39,410	38,060	38,060	0	—	H25～R5年度 (約11年間)	445,546	430,282	▲ 15,264	H25～R8年度 (約14年間)	612,693	70.2%	・年度業務計画に基づき計画通り完了している。長期修繕計画は一部年度が前後する修繕もあるが、費用のバランスを取りながら、事業全体額として大きな影響が出ないように実施している。
⑤ 横浜市南部汚泥資源化センター下水汚泥燃料化事業	84,080	92,747	92,747	0	—	H28～R5年度 (約8年間)	640,860	674,618	33,758	H28～R17年度 (約20年間)	2,139,714	31.5%	計画外の追加修繕と計画修繕の先送りにより、費用のバランスを取りながら、全体額として大きな影響が出ないよう取り組んでいる。
⑥ みなとみらい21中央地区20街区MICE施設整備事業	98,274	101,690	104,201	2,511	物価改定による増	R2～R5年度 (約4年間)	368,527	383,414	14,887	R2～R21年度 (約20年間)	1,997,004	19.2%	・フィルターやVベルト等の細かな設備部品の交換はあるが全体的に設備の状態もよく、年数的にも大きな計画修繕の必要がない状況。令和6年度よりUPSバッテリーの交換等部分修繕が増えていく予定。 ・現在の状況を踏まえ、先送りする修繕の費用のバランスを取りながら、全体額として大きな影響が出ないように長期修繕計画を見直す予定。
⑦ 横浜市北部汚泥資源化センター 汚泥処理・有効利用事業	17,920	20,320	20,320	0	—	H29～R5年度 (約7年間)	115,560	123,560	8,000	H29～R20年度 (約22年間)	428,360	28.8%	汚染防止法の改正による水銀対策設備の対応費用の追加が見られるものの、事業全体を通して大きな影響額ではない。事業期間が約1/4経過したなか、現状の修繕実施額も全体修繕計画額の約1/4という結果を受け、概ね予定とおりに進捗している。
⑧ みなとみらい21中央地区20街区MICE施設運営事業	40,000	6,000	5,333	▲ 667	故障・不具合等による突発修繕の発生も含め、概ね計画とおりに推移。	R2～R5年度 (約4年間)	100,000	8,206	▲ 91,794	R2～R21年度 (約20年間)	2,640,000	0.3%	・当初、吊物機構、照明、映像・音響設備の部分修繕・更新を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の影響で稼働率が低く、劣化もしていないため、修繕は不要と判断し実施していない。 ・そのうえで、先送りする修繕の費用のバランスを取りながら、全体額として大きな影響が出ないように令和7年度以降の長期修繕計画の見直しを行う予定。
⑨ 横浜文化体育館再整備事業	1,671	1,671	0	▲ 1,671	次年度繰越対応のため	R2～R5年度 (約4年間)	1,671	0	▲ 1,671	R2～R20年度 (約19年間)	777,144	0.0%	竣工して築が浅く、施設の状態が良好に保たれており、計画修繕の必要がない状況であったため、計画修繕を先送りするとともに、事業全体で費用のバランスを取りながら、大きな影響が生じないように取り組んでいる。
⑩ 上郷・森の家改修運営事業	2,300	2,300	6,919	4,619	突発的な修繕による増	R元～R5年度 (約5年間)	11,700	17,493	5,793	R元～R16年度 (約16年間)	354,000	4.9%	・突発的な修繕としては、別館照明の経年劣化ならびに照明器具の型が古く、同商品での交換が困難であったため、一括してLED照明に変更を実施。また、冷温水発生機ならびに消防設備(誘導灯)は、点検時に不具合が発見された箇所の複数回の修繕が発生した。 ・突発的な修繕が発生したものの、事業全体を通して、突発的な修繕と計画修繕の先送りにより、費用のバランスを取りながら、全体額として大きな影響が出ないよう取り組んでいる。
⑪ みなとみらい公共駐車場運営事業	40,367	54,800	39,131	▲ 15,669	修繕計画の見直し、想定より修繕費を軽減できたことによる減	R3～R5年度 (約3年間)	83,456	63,329	▲ 20,127	R3～R21年度 (約19年間)	1,374,504	4.6%	・令和5年度は長期修繕計画に基づき路面補修、各種空調機のオーバーホール、一斉開放弁交換工事、並びに駐車場管制システム更新工事を実施した。 ・施設が古く、老朽化しているため突発的な修繕が多く、当初予定していた計画通りに実施することが厳しい状況ではある。 ・施設・設備の状況を確認したうえで、突発的な修繕と計画修繕の先送りにより、費用のバランスを取りながら、全体額として大きな影響が出ないよう計画を随時見直していく。
⑫ 本牧市民プール再整備事業	200	0	0	0	—	R5年度 (約1年間)	200	0	▲ 200	R5～R14年度 (約10年間)	2,900	0.0%	施設引渡し運営開始初年度のため、修繕費は発生せず。
⑬ 環状3号線(杉田港南台地区)電線共同溝PFI事業	設計期間中のため、修繕費は発生せず												